

中越地震のモニタリング研究

1. 重点研究の報告書について

重点研究の報告書が刷り上り(500部)、6月29日(木)の高松市での講習会の参加者に配布した(140部)。印刷した報告書は、白黒印刷であるが、報告書の1ページ目にカラーのものをHP(<http://www.jsce.or.jp/committee/jiban/slope/index.html>)に掲載してあることを明示してある。

資料の配布については、以下のようにしたい。

「斜面とつきあう」の配布先(リストあり)

メールで委員長宛てに集めた報告書を書くにあたってお世話になった方(リスト作成中)

委員 1冊/1人

執筆者 5冊/1人

横浜市民フォーラムで配布

残り委員会で保管

目次

第1章	はじめに	1
第2章	新潟県中越地震の概要	3
2.1	地震の概要	5
2.2	地形・地質	6
2.3	活断層	8
2.4	中越地方の植生	11
2.5	景観	14
2.6	土壌雨量指数と斜面崩壊	15
2.7	積雪環境	18
2.8	被災状況	21
第3章	斜面災害	26
3.1	自然地盤の斜面変動	26
3.1.1	斜面変動の概要	26
3.1.2	分類と特徴	26
3.1.3	斜面変動の事例	28
3.1.4	地形と斜面変動	31
3.1.5	融雪期以降の斜面変動	31
3.2	棚田・溜池等の被災状況	34
3.3	斜面対策工の被災状況	37
3.4	なだれ防止工の被災状況	47
3.5	住宅地における斜面災害	51
3.6	鉄道における斜面災害	60
3.7	高速道路の被害	63
3.8	河道閉塞の発生と決壊予測	65
第4章	景観と斜面災害	70
4.1	棚田	70
4.2	斜面景観	72
第5章	植生と斜面災害	83
5.1	植生と斜面崩壊	83
5.2	斜面植生の崩壊と保全効果	87
5.3	植生による防災効果	91
第6章	斜面と災害廃棄物	93
6.1	中越地震から生じた廃棄物の現状	93
6.2	災害廃棄物	102

第7章	斜面災害の復旧・復興	106
7.1	土砂災害からの復旧・復興	106
7.1.1	土砂移動実験と復旧・復興対策	106
7.1.2	崩壊・地すべり対策(生産源対策)	107
7.1.3	河道閉塞・流出土砂対策	112
7.1.4	今後の大規模・広域災害における流出土砂等の活用について	116
7.2	高速道路の復旧	120
7.3	鉄道の復旧	122
7.4	宅地の復旧	124
7.5	棚田の復旧・復興	125
7.6	復旧・復興時の労働災害	127
第8章	斜面複合災害のモニタリング	129
8.1	斜面崩壊	129
8.2	流出土砂量	133
8.3	植生	136
8.4	景観	138
8.5	災害廃棄物	140
第9章	あとがき	141
	謝辞	

2. 平成 18 年度の調査

春の調査は、下記の内容で、無事修了した。なお、ホームページの「2004 年 10 月 23 日新潟県中越地震モニタリング・ページ」に桜井委員によるルートマップと太田委員による現地写真を掲載。

詳細な報告書については、秋の調査も交えて検討し、年度末には作成する。

2. 1. 平成 18 年度春の調査

- ・ 調査日：平成 18 年 5 月 12 日(金)～15 日(月)
- ・ 参加者は以下の通り。

参加者リスト(20名)				
	区分	氏名	所属	備考
1	委員長	後藤聡	山梨大学	
2	副委員長	稲垣秀輝	(株)環境地質	
3	委員	伊藤和也	(独)産業安全研究所	
4	委員	岩佐直人	日鐵建材工業(株)	
5	委員	上野将司	応用地質(株)	
6	委員	大石哲也	(独)土木研究所	
7	委員	太田英将	(有)太田ジオリサーチ	
8	幹事	大野博之	長崎大学	
9	委員	小川紀一朗	アジア航測(株)	
10	委員	櫻井正明	(財)林業土木コンサルタンツ	
11	委員	佐々木 寧	埼玉大学	
12	委員	田村俊和	立正大学	
13	委員	中濃耕司	砂防エンジニアリング(株)	
14	委員	中野裕司	中野緑化工技術研究所	
15	委員	中村洋介	立正大学	
16	委員	野田龍	林業土木施設研究	
17	委員	八村智明	(財)日本環境衛生センター	
18	委員	平田文	日特建設(株)	
19	代理	大久保拓郎	(株)環境地質	
20	代理	宮原哲也	(財)日本環境衛生センター	

- ・ 調査工程は、以下の通り。

土木学会斜面工学研究小委員会・新潟県中越地震災害 現地調査(平成18年5月)		
5月11日(木)		
委員会終了後、長岡に移動 宿泊場所(長岡市・ホテルルートイン長岡駅前)到着		
5月12日(金)・第1日目		
(A班)レンタカー借用後・出発-国道17号-小千谷-国道291号	(B班)越後湯沢駅集合後、借上車両で出発-IC越後湯沢-IC小千谷-国道291号-	
-旧山古志村役場合流-南平付近調査(旧役場より奥を往復)-国道291号-東竹沢調査-国道291号-国道252号-国道352号-種芋原-寺尾調査-種芋原-国道352号-国道252号-小出IC-長岡IC		
宿泊場所(ホテルルートイン長岡駅前)到着、打ち合わせ		
5月13日(土)・第2日目		
長岡-国道17号-太田川流域調査(濁沢町から高籠神社往復)-国道17号-小千谷-朝日川流域調査(国道291号沿い:朝日山・浦柄・小栗山)-国道17号-長岡		
宿泊場所(ホテルルートイン長岡駅前)到着、打ち合わせ		
5月14日(日)・第3日目		
(C班)長岡-国道17号-国道291号-小栗山付近調査-国道291号-国道17号-芋川下流(竜光周辺)調査-	(D班)長岡-長岡IC-小出IC-国道252号-国道352号-一ツ峰調査-国道352号-国道252号-国道17号-川口町-塩谷(大日岳)調査-	(E班)長岡-小千谷市内放置家屋等調査-旧山古志村内放置家屋等調査-長岡
E班以外:長岡駅または越後湯沢駅でレンタカー返却、解散 E班:宿泊場所(ホテルニューグリーン)到着、打ち合わせ		
5月15日(月)・第4日目		
(E班)長岡-長岡市役所-長岡市解体廃棄物仮置き場-国道17号-小千谷市役所-小千谷市解体廃棄物仮置き場-国道17号-長岡 長岡駅でレンタカー返却、解散		

2. 2. 平成 18 年度秋の調査

10 月ごろをメドに、秋の調査を実施したい。詳細日程については、これから検討し、メール等で連絡する。